



2020年3月期（第44期）

# 決算説明資料

2020年5月26日

株式会社フォーカスシステムズ

（証券コード：4662）

- 1 2020/3期（第44期）決算について P. 3
- 2 2021/3期（第45期）  
トップメッセージと業績予想 P.20
- 3 <ご参考> トピックス P.23
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.29

1

# 2020/3期（第44期）決算について

 決算

- ✓ 売上高・各利益ともに過去最高を更新
- ✓ 会社設立以来初めてとなる中間配当（令和記念配当）を実施  
年間配当金（20円 ⇒ 25円）、配当性向向上（34.4% ⇒ 40.4%）

 事業

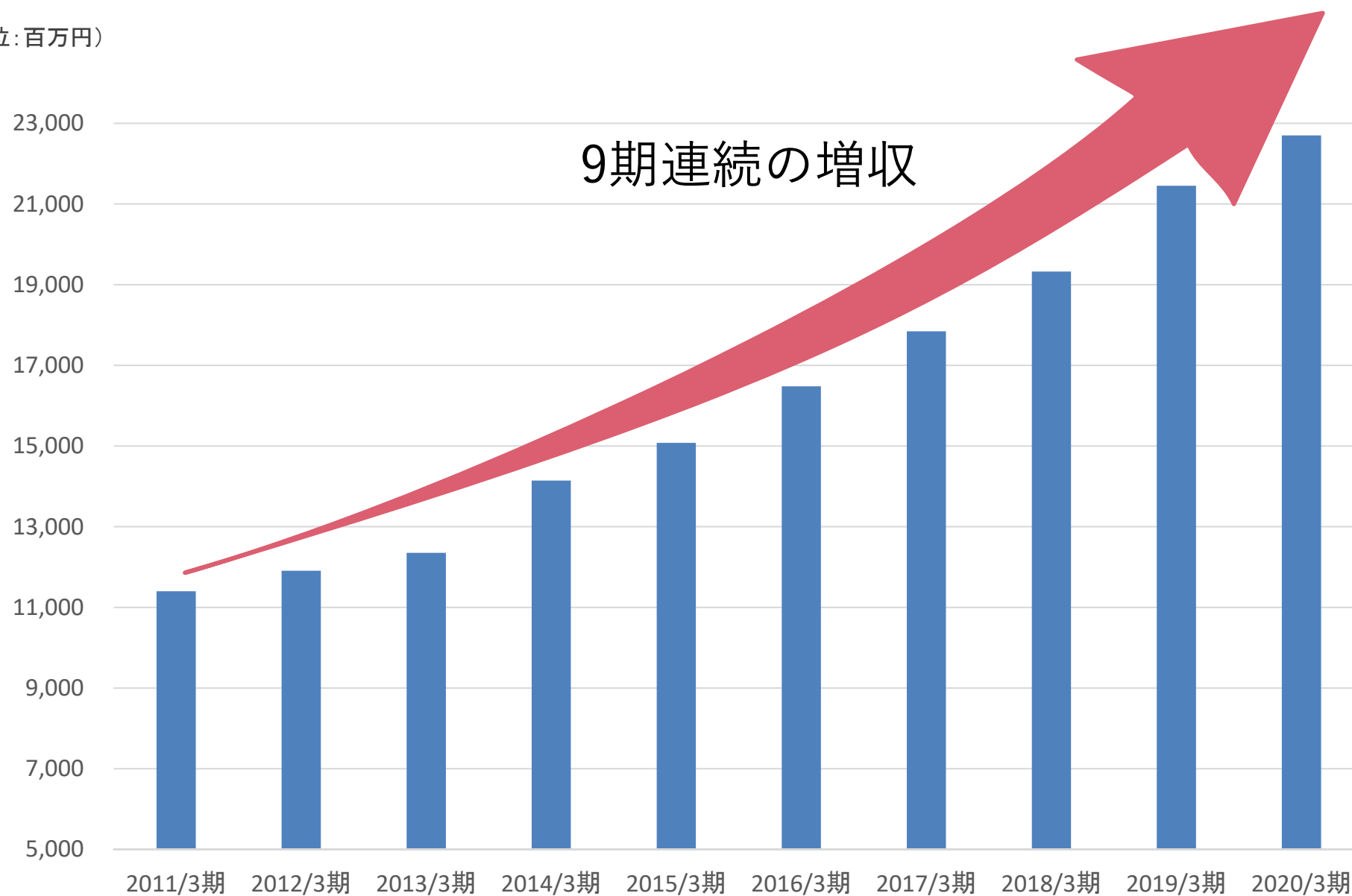
- ✓ 既存事業の拡大は順調に進捗
  - ・ 公共関連システムの拡大
  - ・ IoT（自社製品ビーコンを使った位置測位システム実証実験）
  - ・ 業務アプリケーション（営業活動の自動化サポートソリューション追加）
- ✓ 種を蒔いた取組みの一部が発芽フェーズへ移行
  - ・ AI（医療画像判定／教師データ作成自動化／AI×ARショー演出実証実験）
  - ・ エネルギー（三次電池の実装に関する共同研究）

- ✓ 設備・人材投資を行いつつも、着実な案件獲得・拡大、管理体制の強化により、増収増益
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う当社の業績に与える影響は、当事業年度は軽微

(単位:百万円)

	2019/3期 実績	2020/3期 計画	2020/3期 実績	前期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	21,453	21,800	22,703	1,250	5.8%	903	4.1%
営業利益	1,368	1,420	1,428	60	4.4%	8	0.6%
経常利益	1,375	1,420	1,467	92	6.7%	47	3.4%
純利益	874	930	930	56	6.4%	0	0%

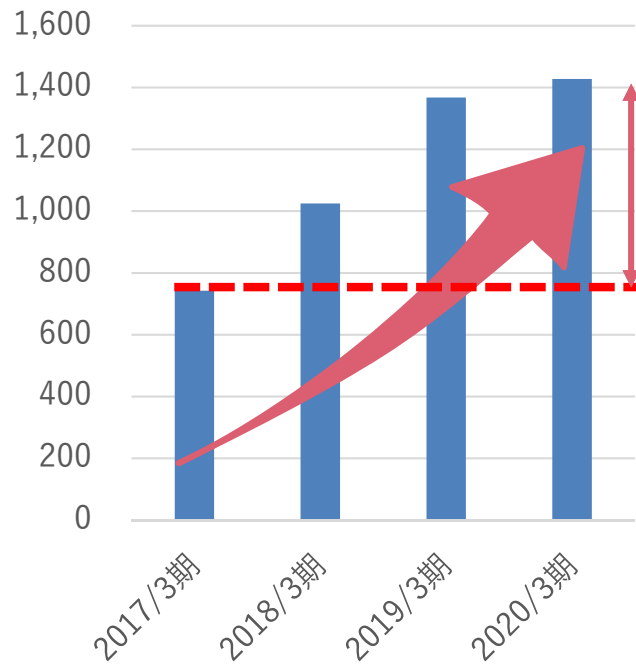
(単位:百万円)



# 3期連続増益

営業利益

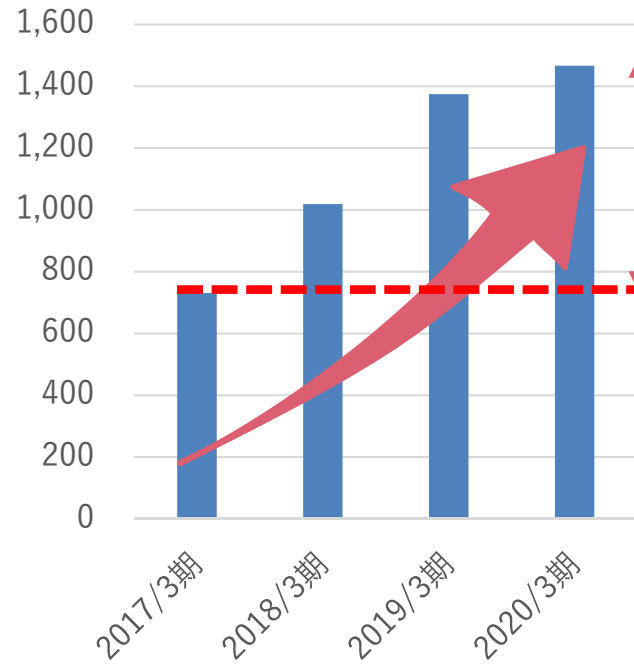
(単位：百万円)



約2倍

経常利益

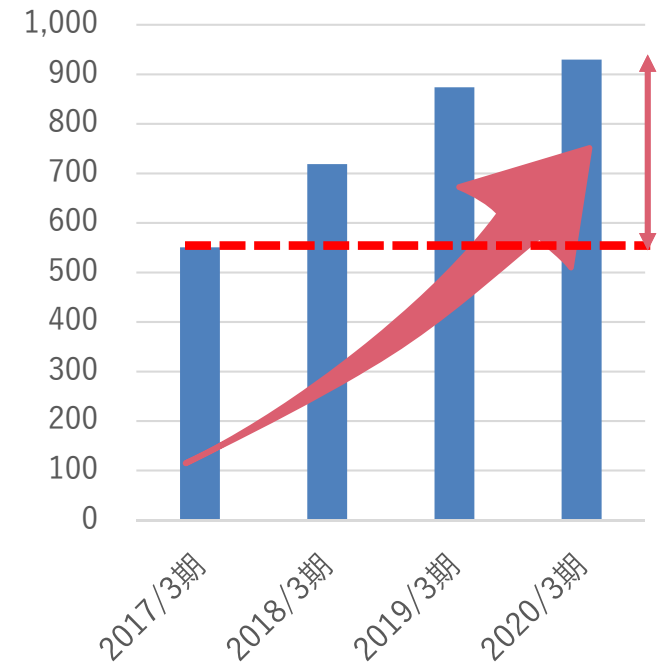
(単位：百万円)



約2倍

純利益

(単位：百万円)



約1.7倍

(単位:百万円)

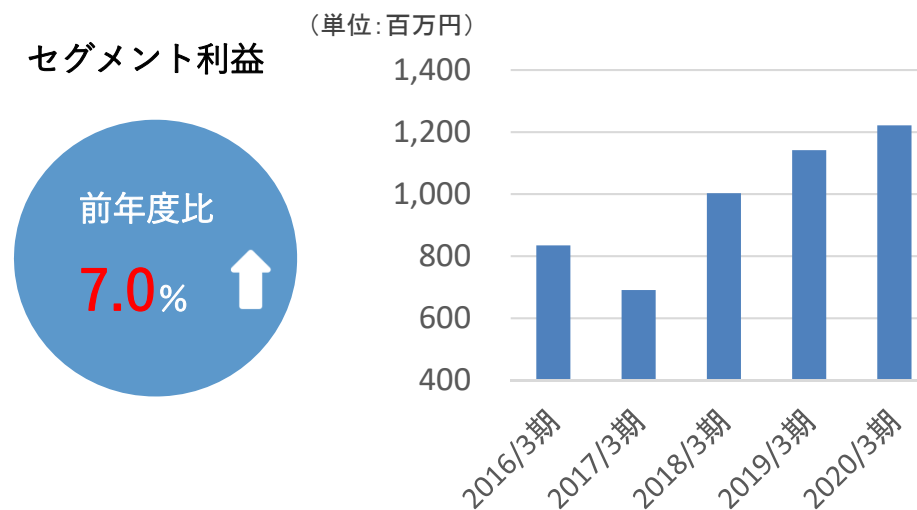
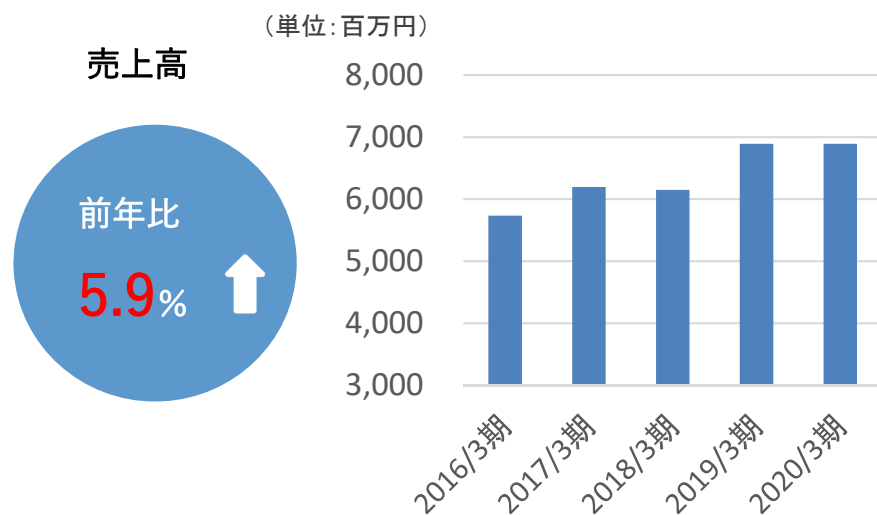
	報告セグメント				調整額 (注) 1	財務諸表 計上額 (注) 2
	公共関連事業	民間関連事業	セキュリティ 機器関連事業	計		
売上高	7,300	14,088	1,314	22,703	—	22,703
売上高構成比	32.2%	62.0%	5.8%	100%	—	—
セグメント利益	1,221	1,643	240	3,105	△1,676	1,428
セグメント利益 構成比	39.3%	52.9%	7.8%	100%	—	—

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,676百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）です。  
 2 セグメント利益は、損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 公共関連事業

最終ユーザーは官公庁及び地方自治体。  
 提案から設計、製造、試験、システム稼働後の保守・運用まで行っている。  
 財務システム、貿易システム、航空管制システム、福祉介護システム、社会保険システム等  
 さまざまなシーンで社会を支えている。



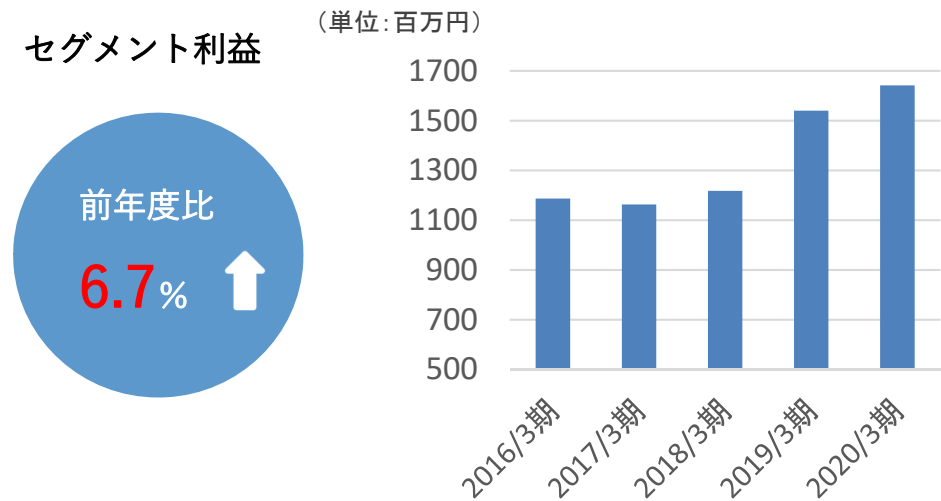
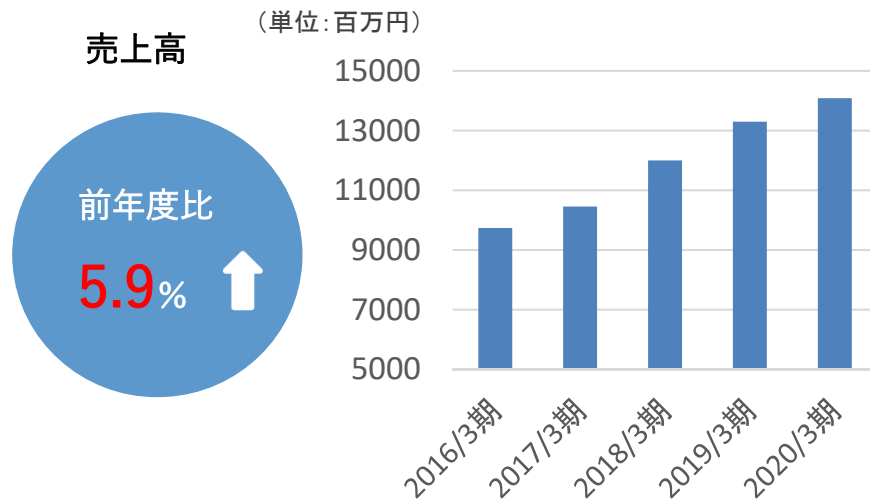
- ✓ 事業部間に横串を通じた協働体制・高収益体制の強化により、成長基調を維持
- ✓ プロジェクト管理の徹底が奏功し、大きなトラブルもなく増益で着地

## 民間関連事業

最終ユーザーは主に民間企業。

日本IBM様を始めとし、沖電気様、ソフトバンク様、TISインテック様等とのパートナーシップの下、さまざまな民間企業向けシステムの開発や基盤構築から運用保守まで行っている。

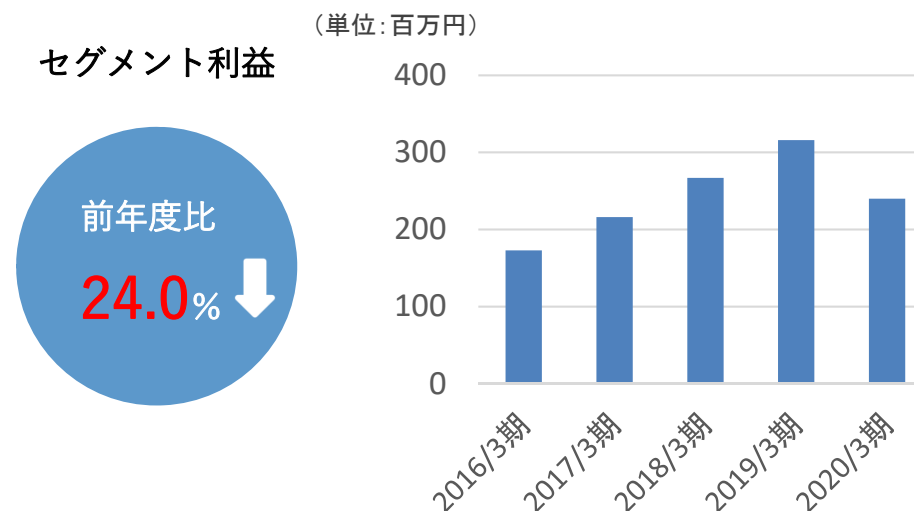
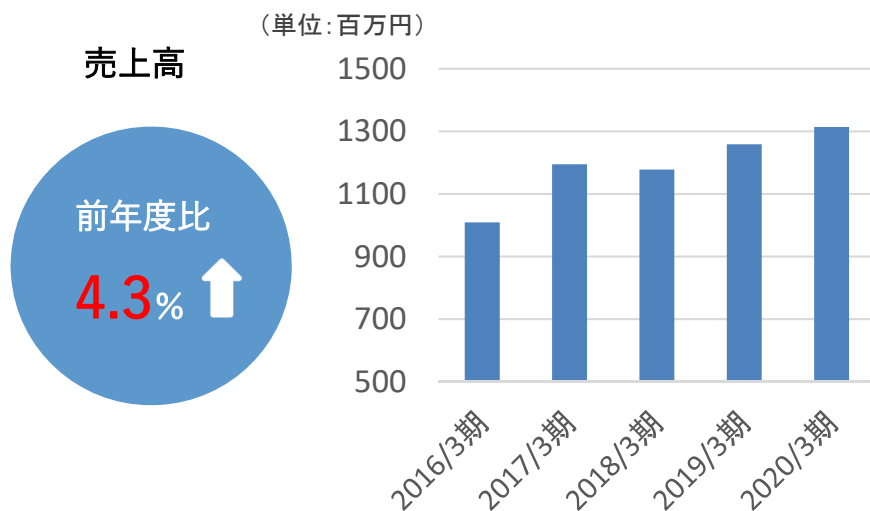
業務アプリケーション、通信制御システム、IoT、AI等、携わるシステムは多岐にわたる。



- ✓ 人材育成投資（新スキルの習得）・設備投資（プロジェクトルームの開設）を実施
- ✓ ビジネス領域拡大のための戦略的投資を実施するも、新規案件の確保・既存案件の拡大、請負案件・直請け案件の増加により増収増益を継続

## セキュリティ機器 関連事業

提供先は官民間わず、広い顧客基盤を持つ。  
暗号技術・電子透かし・デジタルフォレンジック・サイバーセキュリティ等の技術を活用し、セキュリティ事故を防ぐための防御対策から事後対応までカバーし、さまざまなニーズに対応。海外にも多くのパートナーを持ち、新技術の習得及びスペシャリストの育成に努めている。



- ✓ セキュリティ製品・デジタルフォレンジック製品共に販売が好調に進み、連続増収
- ✓ 主にデジタルフォレンジック分野において競争が激化したことに伴い、利益よりもシェア拡大のための案件確保を優先した大型案件が発生し、減益で着地

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	9,789,684	9,835,703
固定資産	6,202,308	5,526,174
有形固定資産	3,492,654	3,596,338
無形固定資産	96,390	50,907
投資その他の資産	2,613,262	1,878,927
<b>資産合計</b>	<b>15,991,992</b>	<b>15,361,878</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,434,914	4,829,780
固定負債	2,450,538	1,646,197
<b>負債合計</b>	<b>6,885,453</b>	<b>6,475,977</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本		
資本金	2,905,422	2,905,422
資本剰余金	2,138,968	2,138,968
利益剰余金	3,249,051	3,803,203
自己株式	△359,961	△359,961
評価・換算差額等	1,170,358	398,267
新株予約権	2,700	—
<b>純資産合計</b>	<b>9,106,539</b>	<b>8,885,900</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>15,991,992</b>	<b>15,361,878</b>

前事業年度末に比較し630百万円減少

(主な増加理由)

- ・売掛金の増加778百万円

(主な減少理由)

- ・投資有価証券の減少961百万円
- ・現金及び預金の減少719百万円

前事業年度末に比較し409百万円減少

(主な増加理由)

- ・買掛金の増加250百万円

(主な減少理由)

- ・長期借入金の減少445百万円

前事業年度末に比較し220百万円減少

(主な増加理由)

- ・繰越利益剰余金の増加554百万円

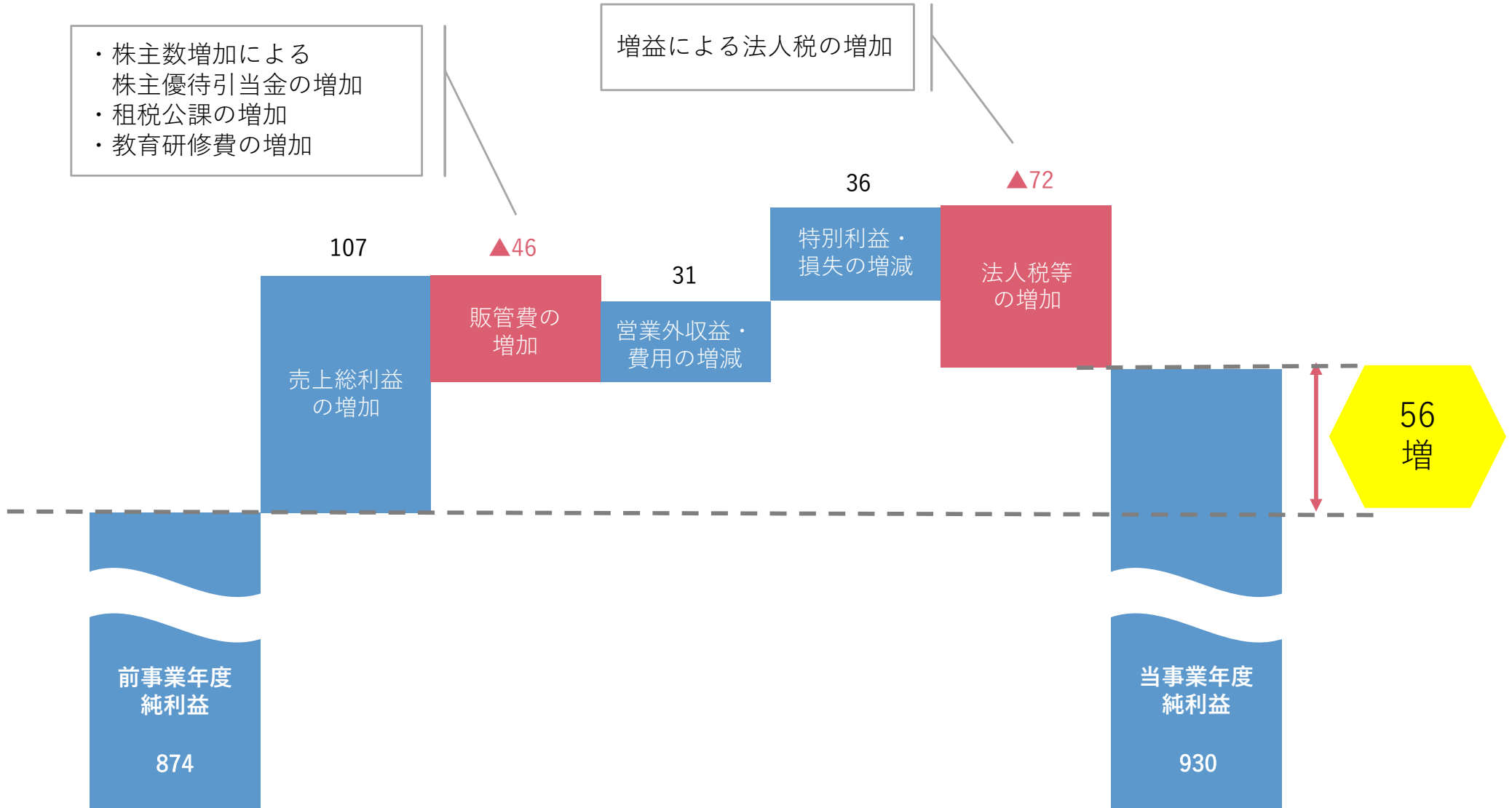
(主な減少理由)

- ・その他有価証券評価差額金の減少772百万円

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
売上高	21,453,829	22,703,906
売上原価	18,455,261	19,598,693
売上総利益	2,998,567	3,105,213
販売費及び一般管理費	1,630,282	1,676,770
営業利益	1,368,284	1,428,442
営業外収益	48,183	70,332
営業外費用	40,904	31,176
経常利益	1,375,563	1,467,598
特別利益	—	30,840
特別損失	73,988	68,356
税引前当期純利益	1,301,574	1,430,082
法人税等	427,292	499,766
当期純利益	874,282	930,316

(単位：百万円)



(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,322,763	745,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395,181	△587,629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△832,644	△874,162
現金及び現金同等物の増減額	94,937	△715,884
現金及び現金同等物の期首残高	4,683,200	4,778,137
現金及び現金同等物の期末残高	4,778,137	4,062,253

745百万円の収入

(主な収入)

- ・税引前当期純利益 1,430百万円
- ・仕入債務の増加額 250百万円
- ・減価償却費 167百万円

(主な支出)

- ・売上債権の増加額 804百万円
- ・法人税等の支払額 481百万円

587百万円の支出

(主な支出)

- ・有形固定資産の取得による支出 232百万円
- ・投資有価証券の取得による支出 210百万円
- ・差入保証金の差入による支出 92百万円

874百万円の支出

(主な収入)

- ・社債の発行による収入 591百万円
- ・長期借入れによる収入 200百万円

(主な支出)

- ・社債の償還による支出 690百万円
- ・長期借入金の返済による支出 582百万円
- ・配当金の支払額 374百万円

前年度末に比較し715百万円減少

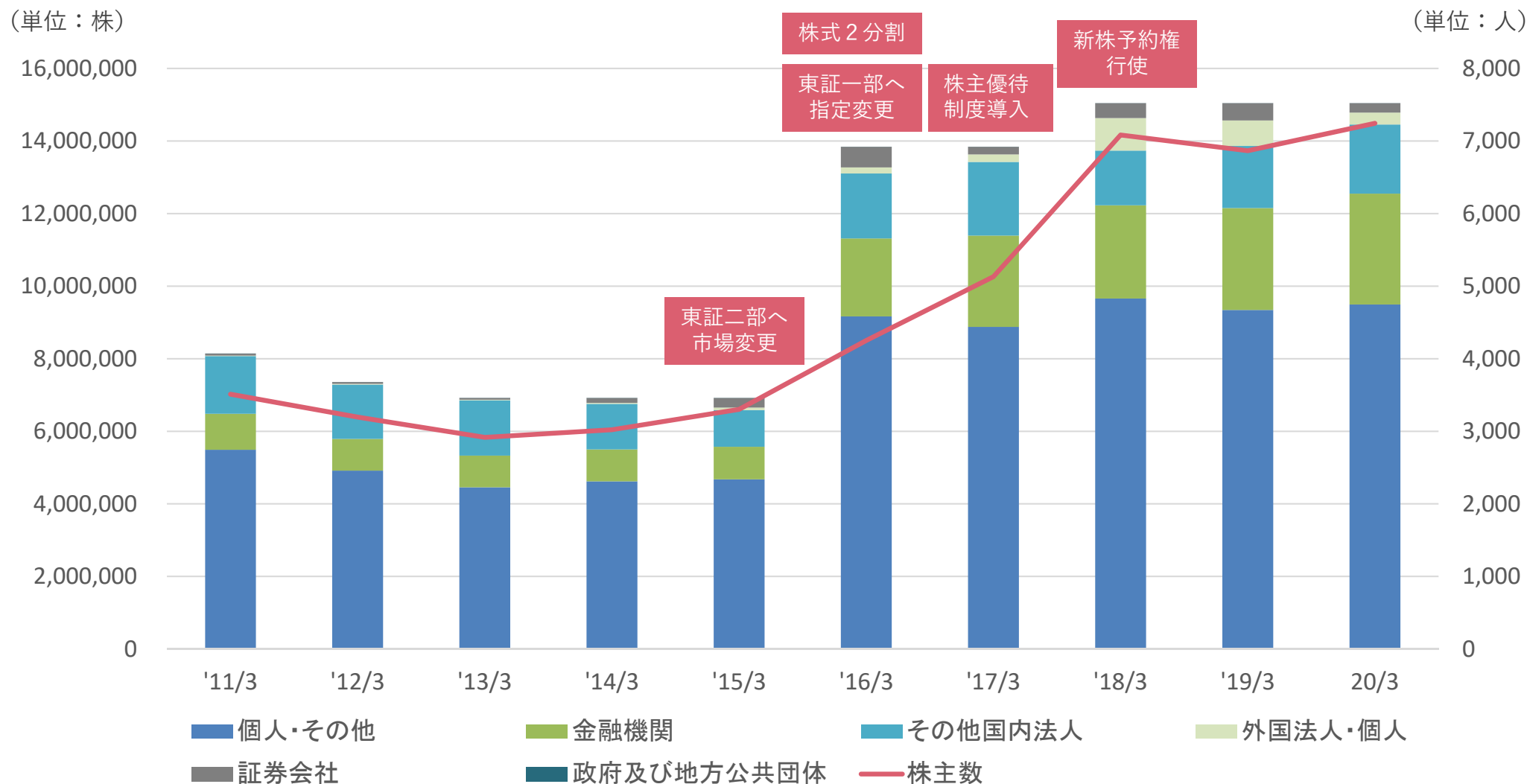
(単位：円)

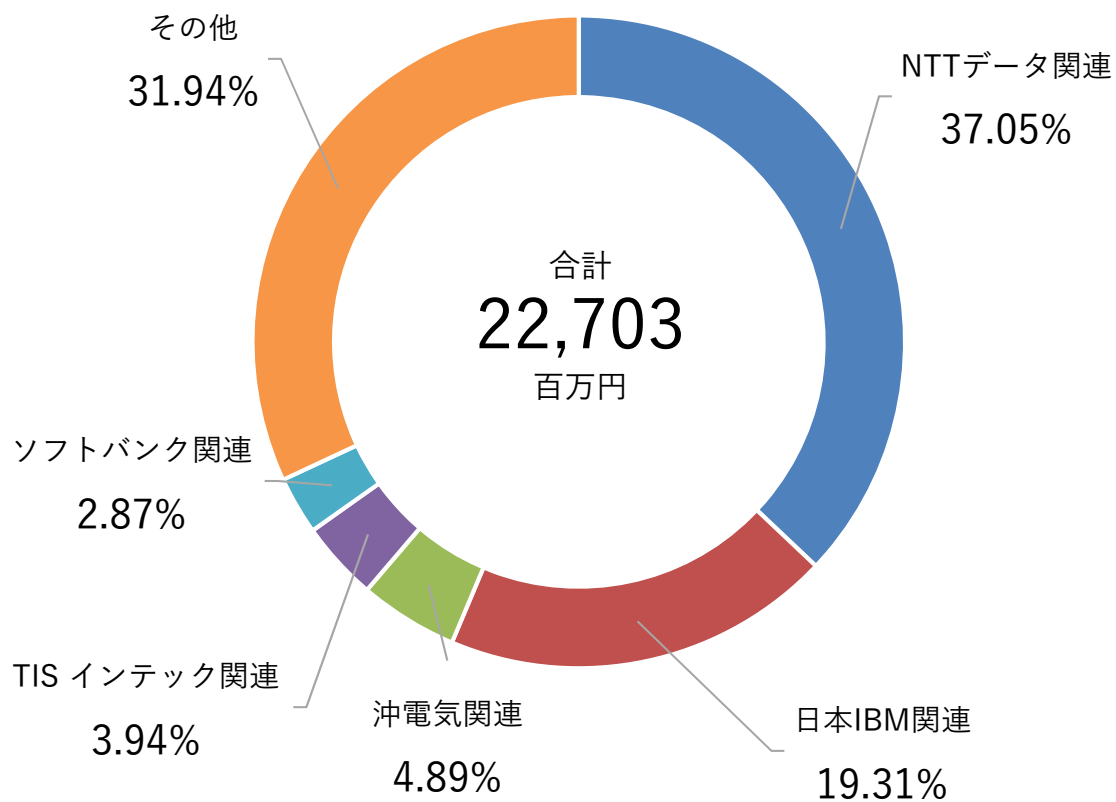


	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
1株当たり当期純利益	39.83円	51.21円	58.11円	61.83円
1株当たり配当金	12.50円	16.00円	20.00円	25.00円 (うち中間配当5.00円)
	-	(期首計画) 12.50円	(期首計画) 16.00円	(期首計画) 20.00円
配当性向	31.4%	31.2%	34.4%	40.4%



- ✓ 2020/3末の株主総数は7,245人（2019/3末から378名増）
- ✓ 外国人・証券会社の株数が減少した一方で、投信・事業法人の株数が増加

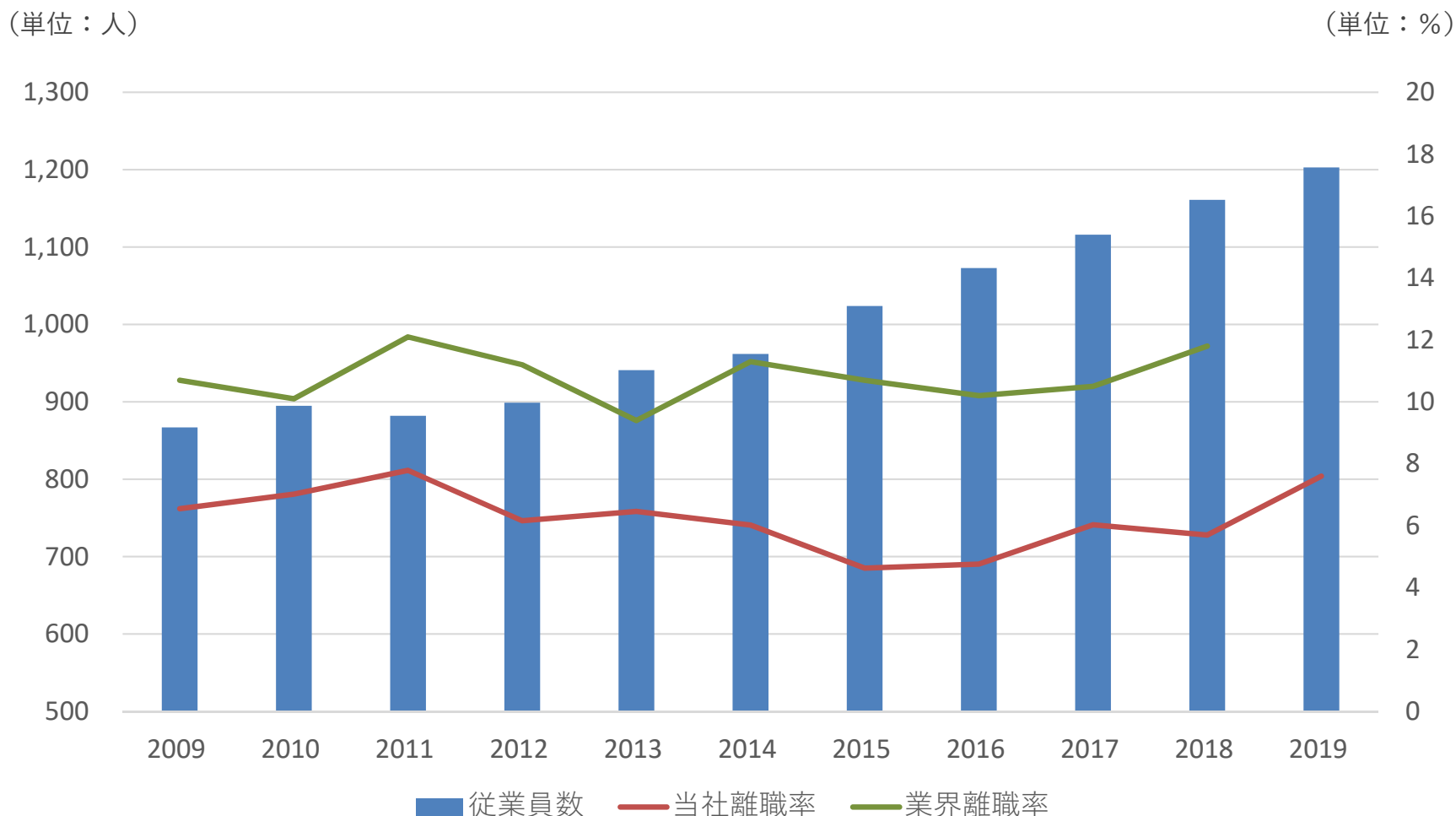




顧客名	2020/3期 売上高 (百万円)
NTTデータ関連	8,411
日本IBM関連	4,384
沖電気関連	1,110
TIS インテック関連	895
ソフトバンク関連	650
その他	7,251
<b>合計</b>	<b>22,703</b>

- ✓ NTTデータ関連企業様、日本IBM関連企業様、沖電気関連企業様への売上高が増加
- ✓ 沖電気関連企業様からの受注が大幅伸長  
前事業年度は売上高が5番目に高かったが、当事業年度は3番目に高い顧客に累進

- ✓ IT人材の流動性が高まったことにより、当社離職率が上昇
- ✓ 人材獲得のための採用強化及び魅力付けを図り、従業員数が堅調に増加するとともに業界離職率を下回る離職率を維持



(※) 業界離職率は厚生労働省発表「雇用動向調査結果の概要」を参考にしております。2019年の離職率は未発表のため、掲載していません。

2 2021/3期（第45期）  
トップメッセージと業績予想

## 企業活動を通して生まれた付加価値を、社会に還元する企業に

IT技術の提供という立場から、  
当社は長年にわたり社会と寄り添って成長を続けてまいりました。

今後も成長を続けるために、  
既存業務においては常に改善改良に努めてまいります。

一方で新たな事業の創出のためには、  
リスクを恐れず、果敢にチャレンジする姿勢が重要だと考えています。

そのように生み出された付加価値を、  
ステークホルダーの皆様に還元することで  
社会に貢献し続ける会社でありたいと考えています。

会社はこれまで描いてきたドラマの積み重ねです。  
すべてのステークホルダーの皆様にワクワクして頂けるよう、  
これからもドラマを仕掛ける会社であり続けたいと考えています。

代表取締役社長 森 啓一



- ✓ 新型コロナウイルス感染症の世界的流行が与える影響を鑑み、2020/3期と同等の売上高・利益となる予想
- ✓ 配当金は、2020/3期の普通配当「20.00円/株」を維持する見込み

	2020/3期実績 (百万円)	2021/3期予想 (百万円)	対前期増減率 (%)
売上高	22,703	22,800	0.4
営業利益	1,428	1,430	0.1
経常利益	1,467	1,430	△2.6
当期純利益	930	940	1.0

	2020/3期実績	2021/3期予想
1株当たり年間配当金 (円)	25.00 (うち令和記念配当5.00円)	20.00
配当性向 (%)	40.4	32.0

3

## <ご参考> トピックス

2019  
4/2

## 筑波技術大学と、聴覚障害者向けに 複数人との会話におけるリアルタイム字幕表示研究

- ✓ 「誰が」「何を話したか」といった大量の聴覚情報をリアルタイムに視覚情報に変換  
聴覚障害者の情報取得の助けとなるユーザインタフェースの開発を行う
- ✓ 聴覚障害者の職域拡大や環境改善を目指す

2019  
7/17

## マイクロン社と、臨床試験の画像判定をAI化する システム開発に向け協業

- ✓ 医療現場の臨床試験における画像判定の課題解決に向けたシステム開発  
(判定にかかるコスト／判定のばらつき／判定に要する時間等)
- ✓ 将来的には日常診療にも応用し、「医師不足」や「病変の見逃し」等の  
社会問題を解決することを目指す



2019  
9/2

## AIによるファッションショー演出の実証実験 「動画内の人の認識とエフェクト合成動画作成」

- ✓ 株式会社 VRaiB（当社関連会社）と共同で開発したライブ AI エフェクトシステム「AI エフェクト LIVE!」の実証実験を実施
- ✓ 「AI エフェクト LIVE!」は、動いている人の顔だけでなく、全身を動画で認識し、自動で追尾して撮影動画にエフェクトを追加することができるソリューション

2019  
10/18

## 営業支援/顧客管理ソリューション 「intra-mart DPS for Sales」提供開始

- ✓ 日々の営業活動による案件状況の変化をタイムリーに可視化  
管理者は状況の変化を見逃さず、最適な”営業支援”を実現
- ✓ ファーストユーザーとして自社に導入し、ユーザーとしてのリアルな顧客視点を取り入れたご提案を武器に、拡販を進める

2019  
10/29

## 大阪工業大学と、効率的なAI教師データ作成の開発に着手～教師データ作成の自動化を目指す～

- ✓ 教師データの作成にかかる作業負担が、AIシステムのスピーディな導入を阻んでいる顧客の課題解決に取組み、AI事業の拡大につなげる
- ✓ 問い合わせ業務の教師データ作成を検討しており、新たなソリューション創出の一環として、2020年中の製品化を目指す

2019  
12/25

## BLEビーコンとLPWA技術による 広域位置測位システムでの工場内物流の 効率化に向けた実証実験を開始

- ✓ 当社のBLEビーコン（FCS1301、timbe）を使用し、広い工場内での位置情報を高精度に測位することで在庫状況等をリアルタイムに把握
- ✓ 物流時間の短縮化や効率化を図り、人材不足や働き方改革等の課題解決につなげる

2020  
2/6

## 筑波大学、群馬高専と三次電池の高電圧化に成功 気温変化を利用して充電出来る電源の実現を目指す

- ✓ 相転移物質の利用により、起電力の上昇に成功
- ✓ 室温付近の気温変化で発電可能なため、電池の交換・管理が不要  
内閣府提唱のSociety5.0の実現に重要となる技術の一つ

2020  
4/7

## IoTゲートウェイメーカーのぷらっとホーム株式会社と IoTセンサー・デバイスパートナープログラムを締結

- ✓ 当社のBLEビーコン（FCS1301、timbe）は「小型」で身に着ける、持ち運ぶ  
という点で非常に優位性が高く、人やモノの屋内位置測位等での実績が増加している
- ✓ マーケティング、セールス、サポート面での強化を図り導入実績の増加を目指す

2020  
5/25

## 虚血性心疾患を対象とした冠動脈イメージングにおけるAI解析ソフトの開発着手

- ✓ 昭和大学医学部循環器内科の新家教授及び株式会社マイクロンと虚血性心疾患における冠動脈内のイメージング画像を解析するAIソフトの開発に着手
- ✓ 将来的には虚血性心疾患だけでなく幅広い病気に対してAI画像診断が応用されることが期待できる
- ✓ 2021年度中の臨床現場での実用化を目指す

Pick  
UP

## 役員退職慰労金制度の廃止及び譲渡制限付株式報酬制度の導入に関する議案を2020年6月29日開催予定の第44期定時株主総会に付議

- ✓ 役員報酬制度の見直しの一環として、当社の取締役役に、当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与
- ✓ 株主の皆様と一層の価値共有を進める

4

## <ご参考> 当社の概要

事業内容	ソフトウェア開発及びITサービスの提供 セキュリティ製品の開発、販売、サービスの提供
本社	東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル
事業拠点	東京、大阪、名古屋
資本金	29億円
上場市場	東証第一部 (証券コード：4662)
従業員	1,203名 (2020年3月31日現在)

- 1977 ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 日本電信電話(株) (現 (株)NTTデータ) と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 日本証券業協会に株式を店頭登録 (現 東京証券取引所JASDAQスタンダード)
- 1997 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用/インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 セキュリティ部門の受託開始 (情報セキュリティ事業開始)
- 2004 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

### サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に対する防御や事後対応、  
ハイクラス犯罪調査ソリューション

### 金融機関向けシステム

メガバンク向け顧客管理  
システムの開発や新銀行の基盤構築

### 医療事務システム

診療を受けた時の診療報酬の  
電算処理システムの開発

### 社会保険システム

全国の年金事務所をつなぐ  
年金制度を支えるシステムの開発

### Web アプリケーション

システム共通基盤 (intra-mart 等)、ERP パッケージ  
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用

### 通信制御システム

携帯電話基地局、ルータやゲート  
ウェイなど、通信制御装置の  
ファームウェアの開発



### 電子行政システム

行政サービスの電子化に伴う  
システムの開発

### 自動車登録システム

車、バイク等の所有者や車検状況を  
管理するシステムの開発

### 暗号技術

電子情報を漏洩や改ざん  
などのリスクから守る  
ための次世代暗号技術

### 航空管制システム

管制官が使用する、いわば  
「空の信号機」システムの開発



### 貿易流通システム

輸出入に関する手続きを  
処理するシステムの開発

### Beacon 開発

Bluetooth® Smart 規格に準拠した  
薄型ウェアラブルデバイスの製造、  
ソリューション提案からアプリケー  
ション開発

### RPA

ロボットによる業務自動化により、  
生産効率を上げるソリューション

### 福祉介護システム

要介護者が受けている介護内容を  
管理するシステムの開発



## 3つのFOCUS

1st FOCUSシステム  
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

## ITサービス

システムの可用性と信頼性を高めるため、インフラ設計・構築や技術サポート、運用サポートを行います。

3rd FOCUS

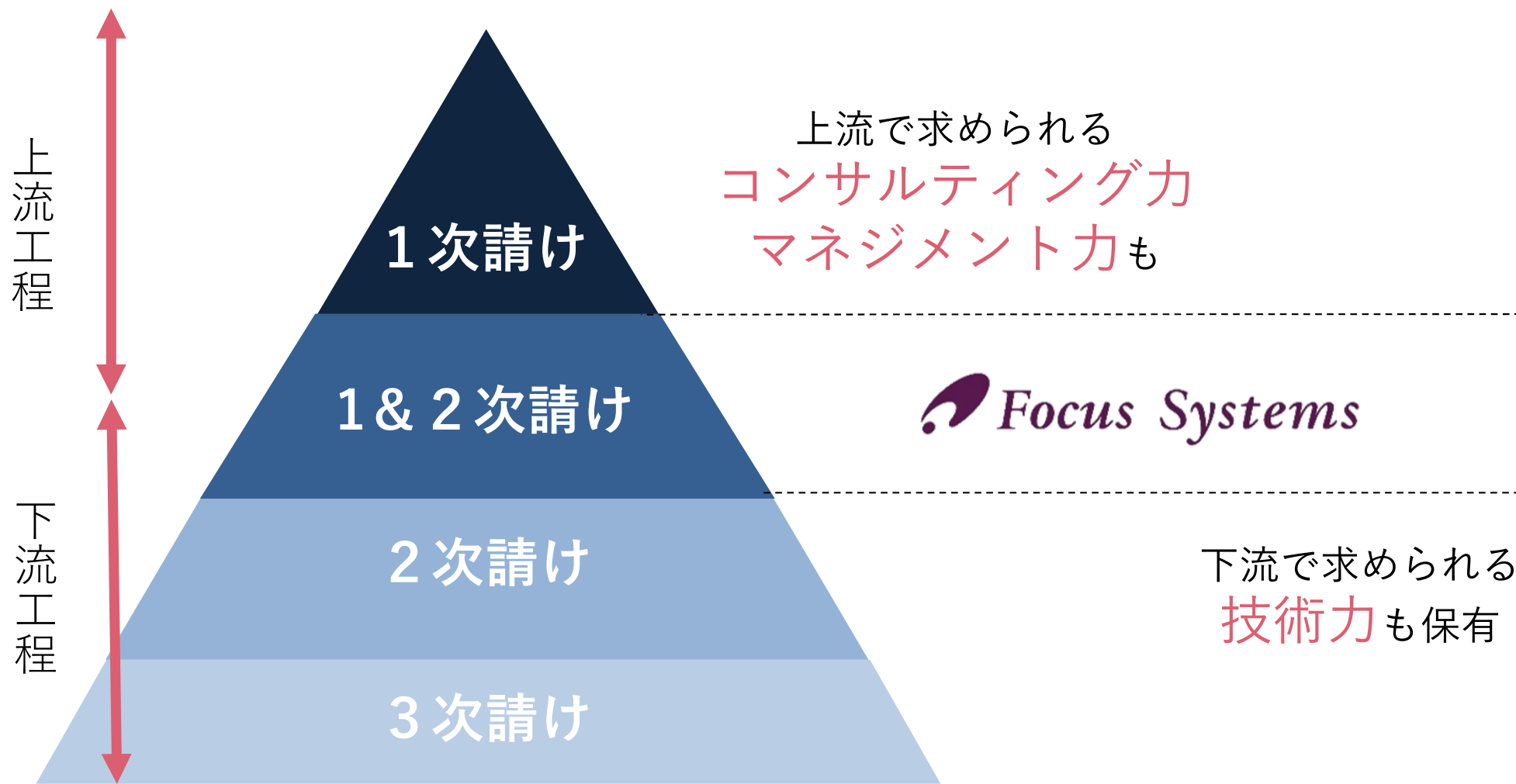
## 情報セキュリティ

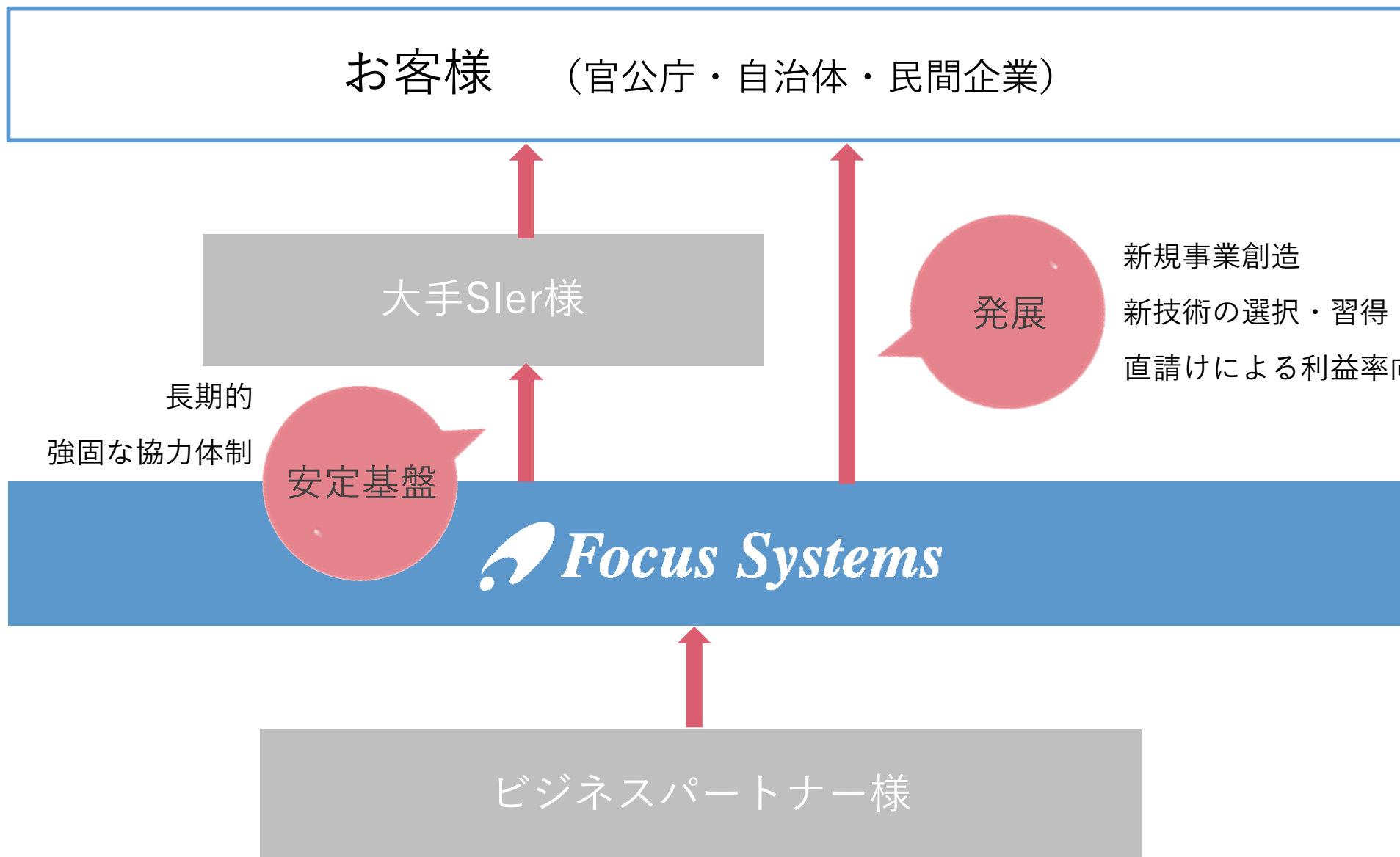
フォレンジック、暗号、電子透かし等の情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。



フォーカスシステムズは独立系のシステムインテグレーター（SI）

工程は、上流から下流まで、プロジェクトは小規模から大規模まで  
(稼働後運用・保守含む)





公共  
関連事業

## 当社の安定基盤

- ・ 長期的に継続する多数のシステムに参画
- ・ 定期的なライフサイクル（法改正対応／システム更改）
- ・ 長年培ってきた深い専門知識と豊富な実績

民間  
関連事業

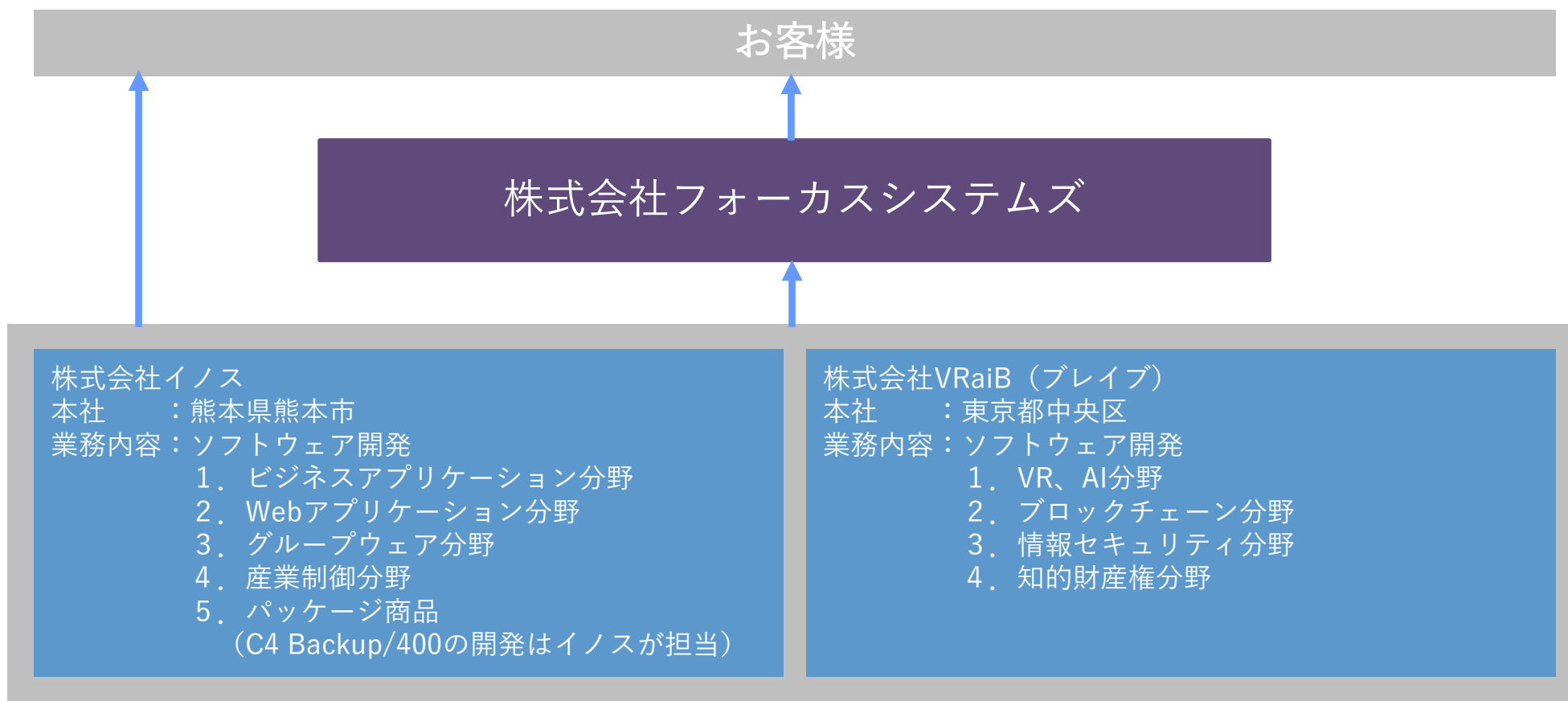
## 事業の発展拡大

- ・ 幅広いビジネス領域  
（スマートフォン・自動車・クラウド・AI・RPA・業務アプリ他）
- ・ 人口減少時代における「ICTを活用した生産性向上」の流れにより拡大が続く市場

セキュリティ  
機器関連事業

## 高付加価値な技術

- ・ 希少価値の高い「デジタルフォレンジック」技術の保有
- ・ 自社技術「暗号」「電子透かし」の保有
- ・ 防衛省様・警察庁様・金融庁様等、中央省庁にも多数導入



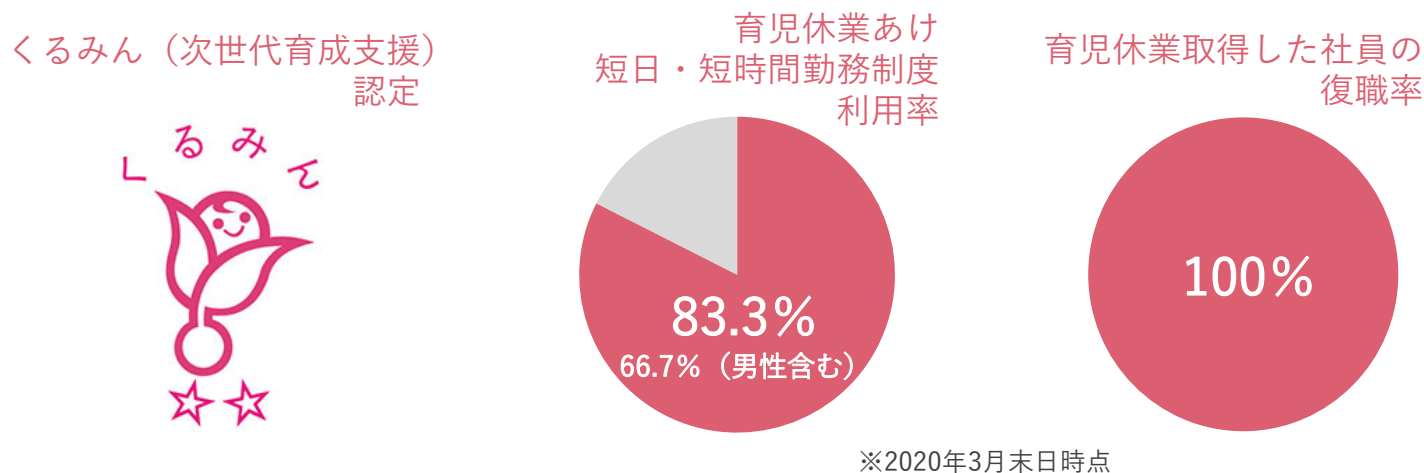
関連会社の状況 (2020年3月)

社名	持分 (%)	売上高 (千円)	経常利益 (千円)	純利益 (千円)
株式会社イノス	20.0	1,209,307	88,980	51,208
株式会社VRaiB	20.0	40,520	125	△835

✂️ ワークライフバランス

1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度  
 短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能  
 ※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可  
 ※同制度上で、フレックス制度も適用可



2 ジョブリターン制度（再雇用制度） ……ライフイベント（結婚・出産・育児）や  
 キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、  
 10年以内であれば再雇用OK

3 フレックス制度 ……自分のライフスタイルに合わせた働き方を支援する制度



## ダイバーシティ

### 1 職域創成

- …障害者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。障害者雇用版広報紙も定期発行。現在は、事務系職域の開拓も推進。



### 2 女性社員交流会

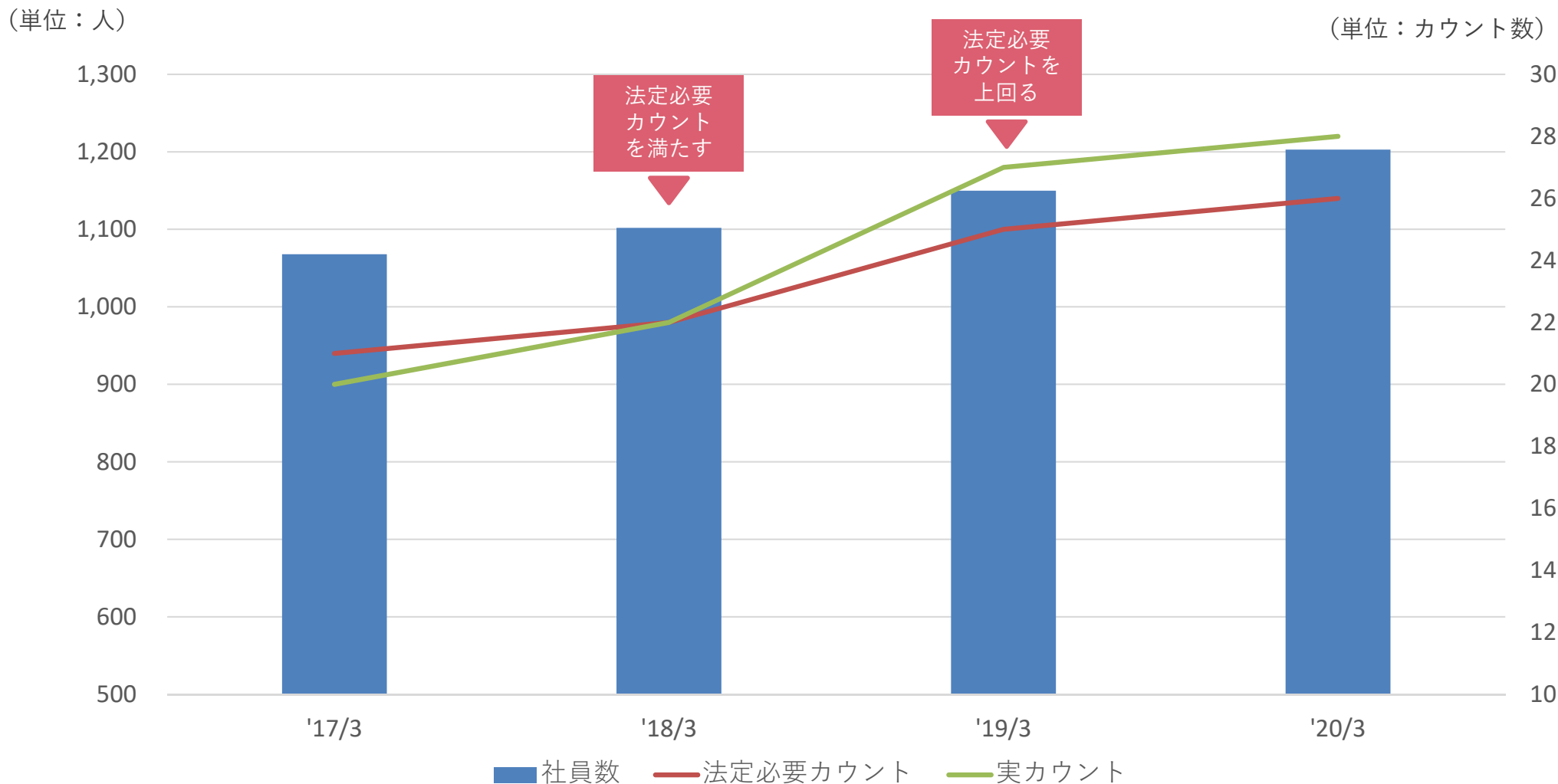
- …若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施。



えるぼし（女性活躍推進）

女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし認定」取得

- ✓ 農業及び事務の職域開拓を図り、多くの障害者が長く働ける環境を整備
- ✓ 障害者と働くことへの理解を促進する社内研修を実施し、受入れ体制を強化



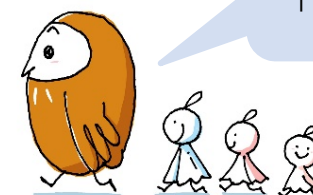
## 1 部活動支援

・・・社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施。  
現在、9つの部活に約150名が所属。



## 2 健康管理セミナー

・・・生活習慣改善と肥満予防のための食事改善セミナーや、睡眠時無呼吸症候群の予防・改善など、テーマ別のセミナーを実施。



「今日からはじめるウォーキング」  
「生活習慣改善セミナー」も実施

## 3 オンライン禁煙プログラム

・・・パソコンやスマホ・タブレットで受診できるオンライン通院、禁煙補助薬の処方  
を組合わせた禁煙治療プログラムを導入。禁煙に取り組む社員をサポート。



## 1 マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや  
情報システムの世界を身近に感じて頂くよう  
ビジネスのこと、業績のこと、社員のことなど  
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信



## 2 オリジナルマンガ 「フォレンジック刑事」

当社が売り上げを伸ばしている  
デジタルフォレンジック分野について  
幅広いステークホルダーの方々に  
理解を深めて頂くためのコンテンツ

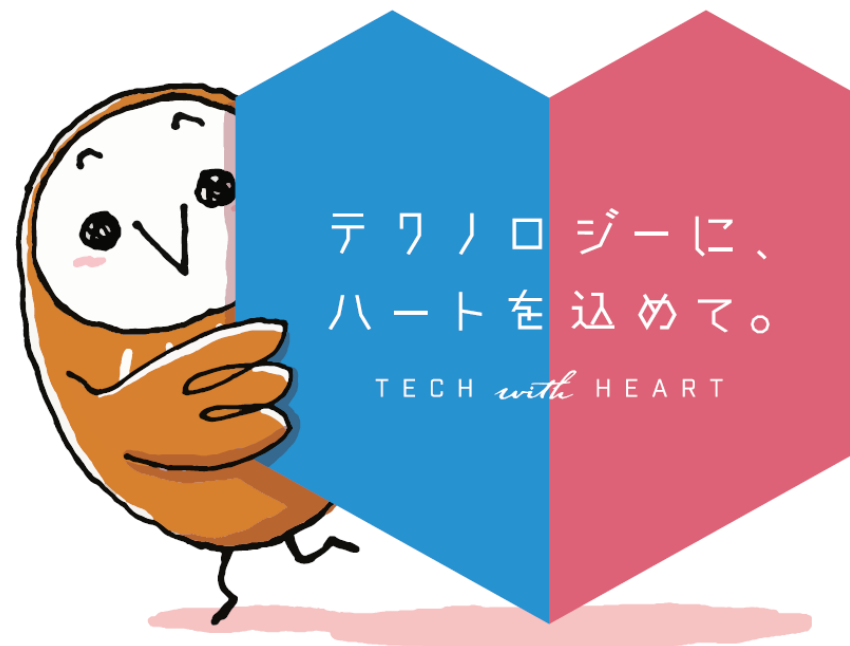


WEBマガジンで全話掲載中

非連結通期	2016/3期	2017/3期	2018/3期 ※	2019/3期 ※	2020/3期 ※
売上高（千円）	16,482,792	17,846,896	19,327,344	21,453,829	22,703,906
営業利益（千円）	953,356	743,538	1,025,541	1,368,284	1,428,442
経常利益（千円）	950,301	731,331	1,019,522	1,375,563	1,467,598
当期純利益（千円）	738,841	551,571	719,243	874,282	930,316
資本金（千円）	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422	2,905,422
発行株式総数（千株）	16,292	16,292	16,292	16,292	16,292
純資産額（千円）	7,415,953	7,258,918	9,201,228	9,106,539	8,885,900
総資産額（千円）	14,936,873	14,567,320	16,820,805	15,991,992	15,361,878
1株当たり純資産額（円）	535.58	524.24	611.34	605.04	590.56
1株当たり配当額（円）	16.00	12.50	16.00	20.00	25.00
1株当たり当期純利益（円）	53.36	39.83	51.21	58.11	61.83
自己資本比率（%）	49.6	49.8	54.7	56.9	57.8
自己資本利益率（%）	10.4	7.5	8.7	9.6	10.3
配当性向（%）	30.0	31.4	31.2	34.4	40.4
従業員数（人）	1,024	1,073	1,116	1,161	1,203
株価 年度高値（円）	888	634	1,350	1,153	1,085
株価 年度安値（円）	340	412	503	774	583

※ 2018/3期から2020/3期の「総資産額（千円）」及び「自己資本比率（%）」は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用した後の数値となっております。

今後とも、ご指導ご支援のほど  
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2020年3月末日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2020年3月末日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。